平成31年度　編入学個別学力試験問題

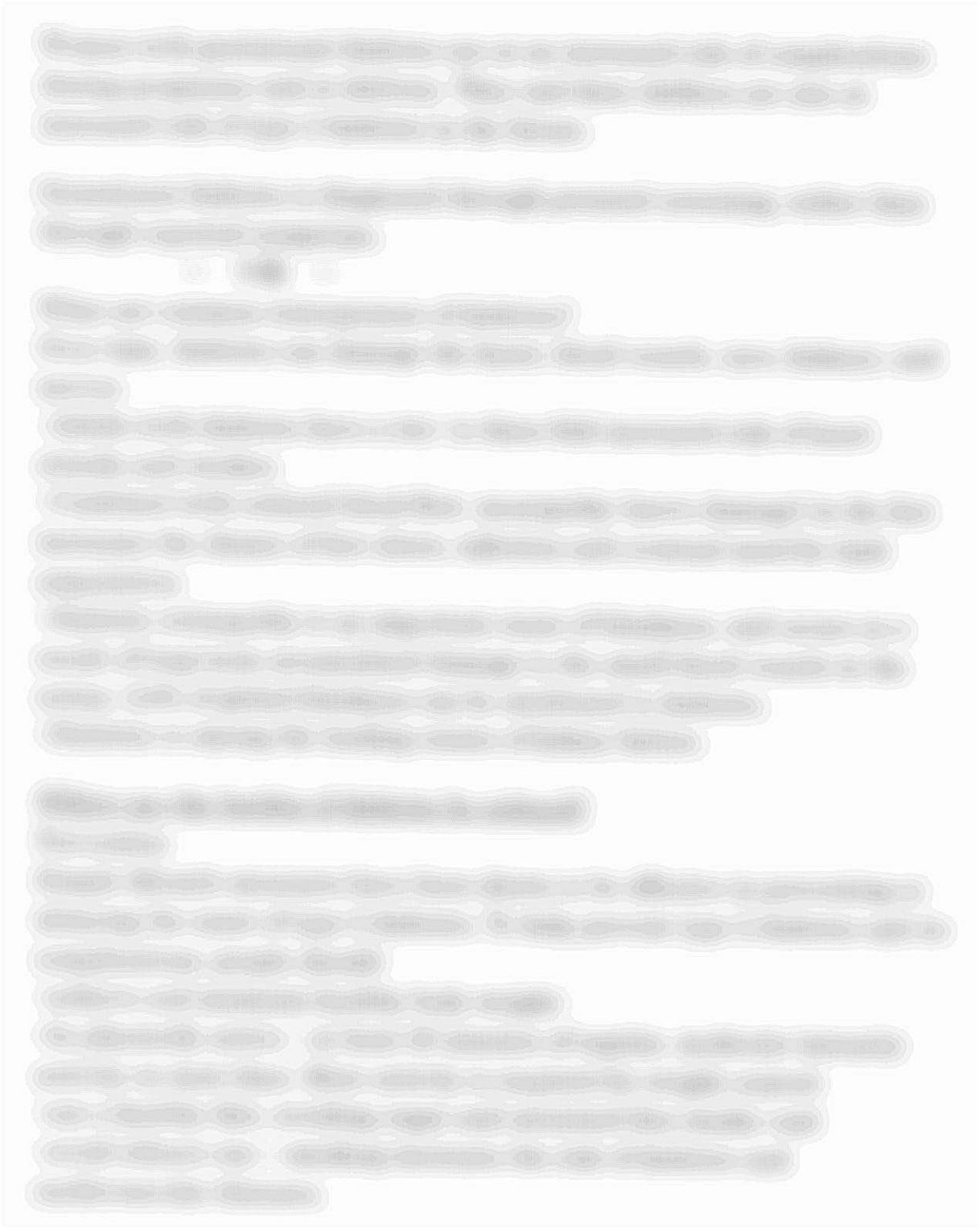
小 論 文（90分）

【注意】

・指示があるまでは開けてはいけません。
・問題冊子はこの表紙を含めて４枚です。
・解答は解答用紙の指示された欄に横書きで記入しなさい。
・解答用紙は２枚です。配布されたすべての解答用紙に氏名と受験番号を記入しなさい。
・解答用紙の得点欄には何も書いてはいけません。
・問題冊子、下書き用紙も回収いたします。持ち帰ってはいけません。

筑波大学医学群　看護学類

以下の英文を読んで設問に日本語で答えなさい。



註：Hyperglycaemia 高血糖症　　Gestational 妊娠性、妊娠による

出典：WHO, news-room/fact-sheets/detail/diabetes, Diabetes 15 November 2017
（http://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/diabetes
アクセス日：2018 年 6 月 27 日）
一部改変

問題１．本文で取り上げている疾患の有病率や死亡数から、慢性疾患患者に対して看護師として何をすべきと考えるか、理由も含めて記述しなさい。

問題２．下線①および下線②の原因と症状について、それぞれの特徴を本文に則して比較し、記述しなさい。

問題３．下線③の背景について、この疾患の原因を踏まえてあなたの考えを記述しなさい。

問題４．下線④に対する具体的な対策の中で、あなたが重要であると考えるものを本文中から１つ取り上げ、その理由を記述しなさい。

問題５．問題４で解答した内容を患者に教育する際の具体的な教育内容と実施時に考慮すべき点についてあなたの考えを記述しなさい。

平成31年度　編入学個別学力試験問題

専門科目（90分）

【注意】

・指示があるまでは開けてはいけません。
・問題冊子はこの表紙を含めて３枚です。
・解答は解答用紙の指示された欄に横書きで記入しなさい。
・解答用紙は３枚です。配布されたすべての解答用紙に氏名と受験番号を記入しなさい。
・解答用紙の得点欄には何も書いてはいけません。
・問題冊子、下書き用紙も回収いたします。持ち帰ってはいけません。

筑波大学医学群　看護学類

問題１　以下の統計の指標に関する説明について、正しいものには○、誤っているものには×を記入しなさい。

（１）　従属人口とは、年少人口に 70 歳以上の人口を加えたものである。
（２）　合計特殊出生率は、1970 年から上昇している。
（３）　粗死亡率とは、全死亡者をその集団の人口で割ったものである。
（４）　死産率には、妊娠 12 週から 22 週未満の人工妊娠中絶を含む。
（５）　婚姻率は、人口千人当たりで算出される。
（６）　1990 年から悪性新生物による死亡が死因の第一位である。
（７）　2010 年から自殺死亡率は 8 年連続で低下している。
（８）　周産期死亡率には、妊産婦死亡数が含まれる。
（９）　乳がんの死亡率は、1985 年と比べて増加している。
（10）　日本の老年人口割合は、1997 年から年少人口割合を上回っている。

問題２　以下の設問に答えなさい。

65 歳男性。右被殻出血と診断され、薬物療法を中心とした保存的治療が行われた。発症から 20 日経過し、現在降圧剤の服用と理学療法を行っている。左半身に運動麻痺があるが、杖歩行ができるようになった。

今後は自宅への退院を希望しており、再出血予防を目的とした退院指導が必要である。

1）入浴に関する指導について、入浴の作用を 3 つ挙げたうえで、各作用に関する注意点とその根拠を説明しなさい。

2）入浴以外の生活上の注意点を 5 つ挙げ、その理由について説明しなさい。

問題１　以下の統計の指標に関する説明について、正しいものには○、誤っているものには×を記入しなさい。

（１）　従属人口とは、年少人口に 70 歳以上の人口を加えたものである。
（２）　合計特殊出生率は、1970 年から上昇している。
（３）　粗死亡率とは、全死亡者をその集団の人口で割ったものである。
（４）　死産率には、妊娠 12 週から 22 週未満の人工妊娠中絶を含む。
（５）　婚姻率は、人口千人当たりで算出される。
（６）　1990 年から悪性新生物による死亡が死因の第一位である。
（７）　2010 年から自殺死亡率は 8 年連続で低下している。
（８）　周産期死亡率には、妊産婦死亡数が含まれる。
（９）　乳がんの死亡率は、1985 年と比べて増加している。
（10）　日本の老年人口割合は、1997 年から年少人口割合を上回っている。

問題２　以下の設問に答えなさい。

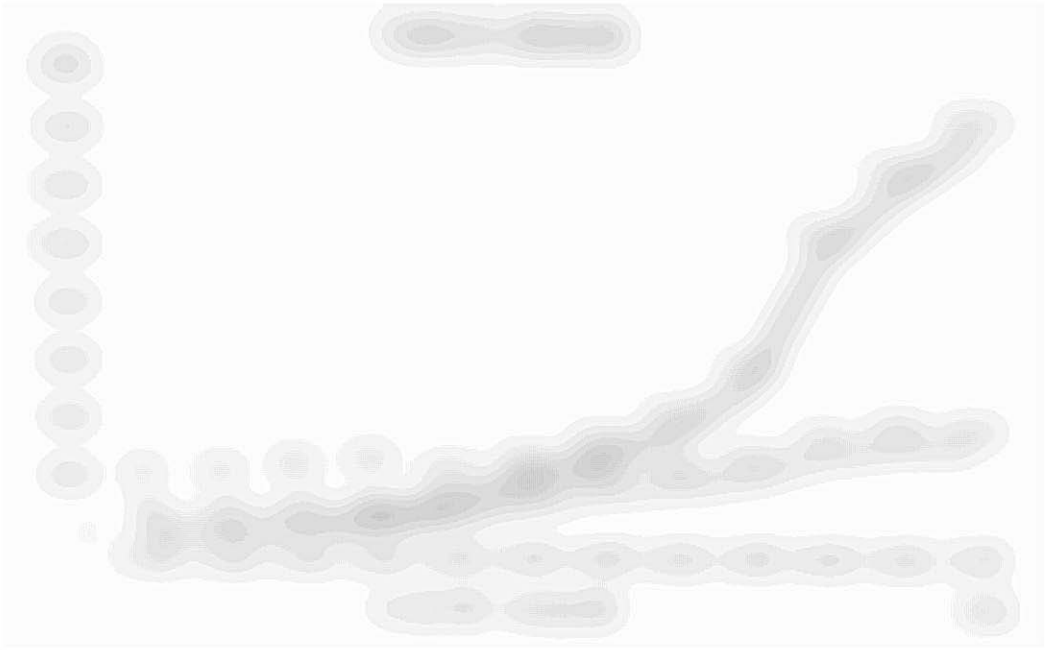
65 歳男性。右被殻出血と診断され、薬物療法を中心とした保存的治療が行われた。発症から 20 日経過し、現在降圧剤の服用と理学療法を行っている。左半身に運動麻痺があるが、杖歩行ができるようになった。

今後は自宅への退院を希望しており、再出血予防を目的とした退院指導が必要である。

1）入浴に関する指導について、入浴の作用を 3 つ挙げたうえで、各作用に関する注意点とその根拠を説明しなさい。

2）入浴以外の生活上の注意点を 5 つ挙げ、その理由について説明しなさい。

問題３　以下の設問に答えなさい。



（出典）国立がん研究センターがん対策情報センター

（出典）2013 がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書　がんと向きあった 4,054 人の声

「がんの社会学」に関する研究グループ　一部改変

1）図、表から読み取れるがん患者の現状について説明しなさい。

2）1）の現状を踏まえて看護職として何ができるか、あなたの考えを述べなさい。